

教育目標		「持続可能な開発のための社会づくりの担い手を育てる」 スローガン 「励まし合い、競い合い、高め合い」				
【重点項目】						
1 人権尊重の精神を基調として、規律と責任を重んじ、喜びや悲しみを共有できる生徒を育成する。						
2 自主・自立的な姿勢や態度を研ぎ、高い志を持って学業のみならず、全てのことに全力を尽くす生徒を育成する。						
3 文化・スポーツ活動に積極的に参加し、組織の一員であることを自覚するとともに、自己の可能性を最大限に発揮する実行力のある生徒を育成する。						
4 ユネスコスクールチャレンジ校として、ESD(持続可能な開発のための教育)を推進するとともに地域の方々と協働し、「地域と共にある学校づくり」を目指し、社会に貢献できる生徒を育成する。						
部	評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果	成果と課題 (評価結果の分析)	改善方策等
総務部	式典などの厳格化と刊行物の充実 学校を取り巻く団体等との関係構築	式典の厳格化と刊行物の充実	・式典において、丁寧な実施計画策定と生徒の式典に対する意識付けの徹底 ・刊行物の企画・編集・校正等の問題点の改善			
		校務分掌間の連携強化	・学内の組織改革から、校務分掌間の報告・連絡・相談の徹底と連携強化			
		育英会・同窓会・近隣地域等とより良い関係作りに取り組む	・学校を支えている各種団体・組織との連携 ・地域に関わることで、より良い教育環境の構築化促進			
教務部	魅力のある教育課程の編成	新教育課程の編成	・時代のニーズを先取りし、建学の精神や教育目標に沿った本校にふさわしい教育課程の編成			
		新学習指導要領が求める人材育成を踏まえた授業への改善	・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ・上記の実現に向けた校内外での研修の推奨 ・上記研修で得た知見や情報の共有			
		ICTを活用した指導の充実	・必要なICT環境の検討・充実 ・ICTを活用した授業等の実践 ・ICTを活用した授業実践の蓄積・共有			
進路指導部	希望する進路の「保障」から「保証」へ	キャリア教育 6ヶ年／3ヶ年計画の改定	・キャリア教育に関係する行事の精査 (キャリアガイダンス、職業理解、学部研究、職場体験、ボランティア、体験学習、講演会、面接、志望理由書、近畿統一用紙、高大連携、進路HR等)			
		管理体制の強化	・自習室の有効活用 ・朝学習における実施状況精査・内容の検証 ・進路指導部と対象学年で入試説明会、対応記録等の情報共有			
		広報活動の充実	・各種説明会の充実(進路説明会、出願説明会、高大連携協定校・指定校説明会) ・入試情報広報の充実(進路指導部通信、土曜プログラム、進路情報誌、各種案内チラシ、ホームページ、育英会委員会報告等)			
		数値目標 国立大学15 難関私立50	・個々の生徒の進路実現に向けた取り組みの充実 (選抜コース担当者会、進学補習、模擬試験受験対策・分析会、学習合宿、キャリアガイダンス、土曜プログラム、学力向上委員会、進路指導部通信での情報提供、自習教室)			
生徒指導部	励まし合い、競い合い、高め合う心をもつ生徒を育成するための適切な指導と支援	生徒が自ら自己実現を図っていくための自己指導能力の育成	・時間を守ることに對しての意識付けを徹底する。(遅刻削減の為、生徒・担任に情報を提供し、生徒会と共に啓発活動を行う。) ・様々な活動や行事等を通じて、愛校心の醸成を図る。			
		生徒の夢の実現を支援するために、生徒が安心してよりよい学校生活を送れるようなサポート体制の充実	・学校全体での登下校指導体制の構築を図る。 ・多様化する生徒に対応できる力を養う研修会を企画検討する。 ・情報モラルの醸成を図るために外部機関を積極的に活用する。			
		不易と流行を常に意識し、新たな知見を取り入れ、生徒一人一人をしっかりと見つけ、生徒の意欲喚起の促進	・生徒が主体的に学校生活のルールを考えられる体制を構築する。 ・保護者の意見を集約できる機会を設ける。 ・自治会や地域行政と積極的につながり、様々なニーズに応じたボランティア活動を推進していく。			
		生徒が主体となった生徒会活動の実施	・生徒会会則の見直しを図る。 ・生徒会・委員会が主体的に行事等を行えるような体制を構築する。 ・生徒会委員会活動の更なる活性化を図る。 ・重狭祭等の生徒満足度を向上させるための企画を検討する。			
国際文化部	自分とは異なる価値観を受け入れ、理解しようとする心を育てる教育活動の支援を関係各所と連携し、実現する	グローバル教育事業の推進	・教職員・保護者・生徒を対象とした講演会や研修会の実践 ・多様な文化的背景を持つ子供たちの受け入れ体制の検討 ・留学・海外研修の充実 ・国際交流、海外連携校の拡大			
		文化・芸術・教育の促進	・文化部の活動実態の把握と活動の場の拡大 ・重狭祭や修学旅行等の文化的行事の充実と意味付け ・校内アートの充実 ・図書館の更なる充実とその教育的利用方法の検討			
保健安全部	自他の生命を尊重し思いやりのある心の醸成と、自己実現に向けて努力する生徒の育成とその支援	生徒の実態把握と情報共有に努め、共通理解をもって生徒の心に寄り添った指導の展開	・教育相談・保健指導および職員堅守の充実 ・迅速かつ正確な情報共有			
		環境整備の徹底と美化意識の醸成、並びに組織的な学校安全・防犯・防災体制の確立	・清掃活動の充実と環境美化の徹底 ・避難訓練や防災HRを通して正しい状況判断ができる力を付けさせるとともに、ワークシート等での振り返り			
入試広報部	・命の教育・ESD教育・ユネスコ認定という3本柱の具現化 ・中高共に、定員確保の常態化 ・安心安全信頼される広報をモットーに専願率100%達成	受験生・入学定員の確保	・徹底した塾訪問・中学校訪問の実践と外部への発信強化			
		入試広報部内の改革	・責任の所在、部内ガバナンス強化、部内研修の強化			
		入試改革	・令和という時代に即して、柔軟かつ先駆的な入試の導入検討			
		各種広報行事の充実	・各種行事でのクレドの理念に則った、品格のある接遇、立ち居振る舞いの推進 ・本校のイメージ戦略の充実による専願者確保			